

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：児童福祉諸費

事業名 児童養護施設等感染症拡大防止対策事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子ども・女性局 子ども家庭課 児童養護第一係

電話番号：058-272-1111 (内 2679)

E-mail：c11217@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 31,766 千円 (前年度予算額：44,800 千円)

<財源内訳>

| 区 分 | 事業費 | 財 源 内 訳 | | | | | | | |
|-----|--------|------------|------------|------------|------------|-----|-----|-----|------------|
| | | 国 庫 支出金 | 分担金 負担金 | 使用料 手数料 | 財 産 収 入 | 寄附金 | その他 | 県 債 | 一 般 財 源 |
| 前年度 | 44,800 | 44,800 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 要求額 | 31,766 | 15,883 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 15,883 |
| 決定額 | | | | | | | | | |

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

児童等の入所する児童養護施設等において、新型コロナウイルス感染症に感染した者又は感染が疑われる者が発生した場合、施設内での集団感染（クラスター発生）を防止するための対策が求められている。

施設内でのクラスター発生を防止するためには、日頃からの感染防止対策が重要であるとともに、感染が疑われる児童等が発生した場合には、速やかに徹底した感染防護を行うことが重要である。

(2) 事業内容

児童養護施設等において、職員が感染対策の徹底を図りながら業務を継続していくために必要な経費（かかり増し経緯等）の他、感染が疑われる児童等が発生し隔離して養育する場合に備え、施設の個室化改修経費等に対する補助を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

国 1/2 県 1/2

(4) 類似事業の有無
無

3 事業費の積算内訳

| 事業内容 | 金額 | 事業内容の詳細 |
|------|--------|----------|
| 補助金 | 31,766 | かかり増し経費等 |
| 合計 | 31,766 | |

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 国・他県の状況

児童虐待・DV対策等総合支援事業費国庫補助金

事業評価調書（県単独補助金除く）

| | |
|-------------------------------------|--------|
| <input type="checkbox"/> | 新規要求事業 |
| <input checked="" type="checkbox"/> | 継続要求事業 |

1 事業の目標と成果

（事業目標）

児童養護施設等において、新型コロナウイルスの感染症対策として、感染経路遮断のために施設の環境改善を図る必要がある。

（目標の達成度を示す指標と実績）

| 指標名 | 事業開始前 | R2年度 | R3年度 | R4年度 | 終期目標 | |
|-----|-------|------|------|------|------|-----|
| | (R) | 実績 | 目標 | 目標 | (R) | 達成率 |
| ① | | | | | | % |
| ② | | | | | | % |

○指標を設定することができない場合の理由

新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要があるため。

（これまでの取組内容と成果）

| | |
|-------|--|
| 令和2年度 | かかり増し経費や個室化改修費等の補助を通じて、施設内における感染拡大を防止することにより、継続的かつ安定的な施設運営を支援することができた。 |
| 令和3年度 | 令和5年度当初予算にて追加 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__% |
| 令和4年度 | 令和6年度当初予算にて追加 指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__% |

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

| | |
|---|--|
| <p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p> | |
| (評価) 3 | <p>新型コロナウイルス感染症が市中に蔓延し、感染拡大の波が頻発している中、虐待を受けている児童など要保護児童等が入所している児童養護施設等が継続的に運営することは、県の児童福祉にとって極めて重要である。</p> |
| <p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） <small>3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</small></p> | |
| (評価) 2 | <p>施設等において感染が広がり、要保護児童等が入所できなくなること避けるため、施設等における感染対策は必要である。</p> |
| <p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p> | |
| (評価) 2 | <p>県内の施設等のニーズや現状の把握に努めるとともに、寄付や国から提供される衛生用品など本事業以外の様々な支援を有効に組み合わせて事業を実施している。</p> |

(今後の課題)

| |
|---|
| <p>その時々新型コロナウイルス感染症の感染状況を鑑み、その都度必要な対策を柔軟かつ迅速に実施する必要がある。</p> |
|---|

(次年度の方向性)

| |
|--|
| <p>県内の感染状況や国の対策など、刻一刻と変化する情勢を的確に分析し、必要な対策を柔軟かつ迅速に実施していく。</p> |
|--|

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

| | |
|-------------------------------|--------------|
| <p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p> | <p>【〇〇課】</p> |
| <p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p> | |